

V 育成期間

斉一性のある雛を育てるために

床面の乾燥状態を維持することが大切です。湿ると呼吸器病やコクシジウム症などの疾病を誘発し、飼料要求率が低下するとともに成長抑制を引き起こします。また、胸部水腫の発生防止のためにも乾燥状態を維持することが大切です。

給餌・給水方法

給餌・給水スペースを十分与えるとともに、各容器の高さを日齢に合わせて適宜調整することが大切です。

飲水のこぼれで床が湿る場合は、給水器の高さや給水器の故障の有無を調べるとともに、十分な飲水スペースが確保されているか確認して下さい。

環境管理

○換気

換気の実施は、鶏舎内の温度と湿度をコントロールするほかに、舎内の炭酸ガスやアンモニアガスなどの有毒ガスと、埃などを排出し、新鮮な空気を鶏舎内に取り入れことです。換気量が不足すると舎内で発生する水分を排除しきれず床面が湿り、腹水症等の病気の発生を誘発することがあります。

冬期間は特に換気に注意を払うことが大切です。舎内の空気の状態、気温や風の強さ向きなどを見ながら十分な換気量を確保して下さい。ただし、室温は10℃以下にならないようにして下さい。

え付け後の温度管理の目安

(°C)

温度 \ 受入時	(日齢) 1	2	3	4	6	8	10	12	14	15	16	18	
室温	28	27	26	25		24				23			
ブルーダー内	32.0		31.5		31.0	30.0	29.5	29.0	28.5	28.0		27.5	27.0

温度 \ (日齢)	20	22	24	25	27	28	29	30	31	33	34	36	37	38
室温		22					21							
ブルーダー内	26.5	26.0	25.5	25.0	24.5	24.0		23.5	23.0	22.5	22.0	21.5	21.0	